



2019年11月7日

各位

会社名 キョーリン製薬ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荻原 豊  
(コード番号 4569 東証第1部)  
問合せ先 グループ経営企画統轄部 部長 谷藤 功典  
電 話 03-3525-4707

## 通期業績予想の修正について

当社は、2019年11月7日開催の取締役会において、2019年5月13日(決算発表時)に開示した2020年3月期の業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2020年3月期の連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	114,100	9,100	9,600	7,100	123.94
<b>今回修正予想(B)</b>	<b>109,400</b>	<b>6,500</b>	<b>7,100</b>	<b>5,400</b>	<b>94.26</b>
増減額(B-A)	-4,700	-2,600	-2,500	-1,700	—
増減率(%)	-4.1	-28.6	-26.0	-23.9	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	113,620	8,972	9,438	6,869	104.68

#### 2. 業績予想数値の修正理由

第2四半期連結累計期間の業績を勘案するとともに、新医薬品(国内)において、主力製品「デザレックス錠5mg」の供給再開が11月となったこと、また新製品「ラスビック錠75mg」の製造販売承認が9月となり、発売時期が遅延したことにより両製品の売り上げを見直し、売上高を下方修正いたします。これらにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正いたします。

なお、2019年5月13日に公表しました配当予想(年間75円/株)の変更はございません。

以上

(注)上記予想は本資料発表時において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は本予想額と異なる可能性があります。

## 補足資料

### 1. 連結売上高について

(単位:億円)

	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (当初予想)	2020年3月期 (修正予想)	対前年 増減額	対当初予想 増減額
売上高	1,136	1,141	1,094	-42	-47
医療用医薬品事業	1,079	1,080	1,034	-45	-46
新医薬品	875	758	724	-151	-34
国内	777	744	710	-67	-34
海外	8	13	14	+6	+1
後発医薬品	293	322	310	+17	-12
ヘルスケア事業	58	61	59	+1	-2

### 2. 主要製品の売上高について

(単位:億円)

	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (当初予想)	2020年3月期 (修正予想)	対前年 増減額	対当初予想 増減額
国内新医薬品					
フルティフォーム	131	140	141	+10	+1
ウリトス	66	60	59	-7	-1
デザレックス	37	80	50	+13	-30
キプレス(成人製剤)	62	45	47	-15	+2
キプレス(小児製剤)	76	61	63	-13	+2
ナゾネックス	128	62	62	-66	0
ベオーバ	7	25	28	+21	+3
ペンタサ	135	120	127	-8	+7
ムコダイン	68	60	61	-7	+1
後発医薬品					
モンテルカスト錠「KM」※1	119	116	115	-4	-1
モメタゾン点鼻液「杏林」※2	—	19	18	+18	-1

※1 モンテルカスト(キプレス)のオーソライズド・ジェネリック(AG)

※2 モメタゾン点鼻液(ナゾネックス)のオーソライズド・ジェネリック(AG)